

学校評価アンケート「お気づきの点について記載してください」について

日頃の教職員の対応、生徒との関係作りなど多くの感謝や労いのお言葉をいただき、誠にありがとうございました。教職員一同大変嬉しく今後の励みにいたします。賜りましたご意見や感想等について学校の考えをまとめてみましたが、こちらの理解が不十分なもの等ございましたら、直接学校にご連絡くださいますようお願いいたします。

○ 通学かばん(カニ中バッグ)に対する対応について

葛西二中では、3年前に教育委員会に依頼し、各教室に教材保管用の棚を設置していただきました。その棚を活用し、登下校の負担軽減になるように、教室に置いて行ってよいものを多くしています。学校でも再度生徒に置いていくように話をいたします。また、文部科学省・教育委員会では、デジタル教科書の導入を検討し、さらなる負担軽減を目指しています。本校では、規定のかばんの大きさも考慮した結果、かばんそのものについても検討しています。現在、業者との交渉を進めています。決定には時間がかかりますので、必要な教材のみ持ち帰るように指導を徹底していきます。

○ 副教材について

「タブレットで何でも調べられるのに、教科書・ノート以外の副教材が多すぎる。成長への影響や、腰痛の原因にもなる」というご意見をいただきました。学習効果をあげるため、副教材として問題集などを用いて学習しています。授業中だけではなく、家庭学習(宿題)や、定期考査の範囲にもなっています。体への負担に関しては前述の通り、学校ではその日に必要な教材のみ持ち帰るように指導しています。ご家庭でもご確認ください。

○ オンライン授業の生徒・保護者への周知について

「積極的に周知した方がよい」とのご意見をいただきました。これからはしっかりアナウンスをしていきます。現在、学校ホームページにオンライン授業の受け方を掲載してありますのでご覧ください。

○ コロナ陽性情報について

「生徒だけではなく、教職員の情報も」というご意見をいただきました。教職員の感染状況に関しては、昨年9月まで江戸川区のホームページに掲載されていましたが、その後掲載が取りやめになったということでした。今後本校の連絡メールにて生徒同様に通知いたします。

○ 落とし物の公開について

生徒がいつでも見ることができるよう1階の職員室前廊下に専用キャビネットを設置し、落とし物を公開しています。保護者会や面談等でのご来校の際にご覧ください。また、修了式後の体育館において、生徒が直に実物を確認できるようにしています。普段から持ち物

に記名し、ものを大切にすることを学校で指導していきますが、各家庭でもよろしく願いいたします。

○ 学校から配布するプリントについて

「学校評価にある『学校からのプリントを保護者に見せている』について、学校から何枚プリントが出ているか不明、情報がないと親が確認できない」というご意見をいただきました。中学校では、生徒を通してお知らせ等を配布しています。生徒には、配布物を保護者に渡すよう普段から話をしています。ご家庭でも声掛けをしていただき、ご確認ください。必要によっては、ホームページに掲載しています。

○ 学校からのメールについて

「子供が手紙を出し忘れるため学校からのメールは有難いが、当日の朝でなく前日までにほしい」というご意見をいただきました。メールは、予めプリントでお知らせしている内容を、確認の意味で配信しています。前日までにらせるよう心がけます。

○ メール等での問い合わせについて

江戸川区では令和5年度から新システムが導入され、欠席連絡はメールで行うことが可能になります。その他の問い合わせは、学校ホームページに掲載してあるメールアドレスでも受付できますが、できるだけ口頭が有り難いです。

○ 校則について

校則の改定には、様々な意見がありました。「プライベートと社会の違いを区別するためには校則があると思う。個を守るという権利だけで先行する姿に少々不安がある」、「それぞれの国にはそれぞれの法律あり、それぞれの社会にはそれぞれのルールや約束事があります。学校も同じで、それぞれの学校にはそれぞれのルールがあって当たり前だと思います。一部の生徒や保護者の意見で校則を変更するのはどうかと思う」というご意見。今年度から改定した髪型については、「必要なときは髪を結ぶなど何のための校則で何のための規定なのか理解しにくい」、「朝、調髪にかかる時間が増えた」、「登下校の様子を見ていると明らかに必要以上に身なりを整えている生徒が増えた」というご意見がありました。他の校則については、「スニーカーの色や靴下の色」の改定に対するご意見、「真冬のジャージ登校はとても寒いので、温度調節のため無地のトレーナーなどの着用を許可してほしい」という要望がありました。

現在、社会では以前と比較して、服装や髪型について多様な考え方をするようになってきています。学校も同様に LGBTQ を含め多様な考え方で対応していく必要があると思っています。しかし、いろいろな職業・職種の保護者の方々から、様々な考えや意見が出てくるのは当然であり、すべての生徒・保護者が共通理解のもとでの校則改定は難しいのが現状です。改定により次の課題が新たに生まれることもあります。例えば、髪型の改定により様々な課題も生まれてきています。ある中学校では、生徒がモヒカン(棟髪刈り)のような髪型にして

きても校則違反でないため注意できない状況が生まれたり、保護者から染髪を認める要求があったりもしています。中には「家庭の判断でいいのでは」と思う方もいらっしゃると思いますが、中学生は自分で判断するにはまだまだ幼い生徒もいて、安易に他人を真似(まね)る生徒が出てくることもあります。見た目を気にするあまり、学習に身が入らないというケースも珍しくありません。そうすると、「家庭の判断」に委ねるとは言っていられなくなり、どの学校でも改定に苦慮しているのが実情です。

本校では、現在生徒会で意見を出し合い慎重に検討を進めています。改定にあたっては、現行の校則をしっかりと守らせることがまず必要であり、その上で、慎重に改定をする予定です。ただし、早急に改定が必要な内容については速やかに対応し、少数意見も大事にしたいと思っています。

○ 定期考査を実技4教科、主要5教科の2回に分けての実施について

2回に分けての実施について、多くの感謝のお言葉をいただきました。しかし、「生徒への説明不足、今後についても説明がなく一方的な印象がある」というご意見もいただきました。生徒には9月22日に周知し、保護者宛にもお知らせを配布いたしました。生徒にとって重要な内容であるために、早めに周知を図ったつもりでしたが、生徒への説明が不十分だったことは大変申し訳ありませんでした。今後の方法については、生徒にアンケートをとり、保護者には生徒のアンケート結果のお知らせした上でご意見をいただき、これをもとに教員からの意見もまとめ、改善をしました。その内容を学校だより第25号に掲載し、1月13日に保護者宛に示させていただきます。今後は、丁寧な説明を心がけていきます。

○ 生徒にとって、興味・関心がもてる授業について

「子供があまり興味・関心をもって授業を受けている感じがしない。予習をしていないのでわからないと子供が言います。興味・関心をもって学習に臨んでほしい。あわせて工夫もお願いします」という保護者の思いとご意見をいただきました。すべての保護者が同じ思いであると思います。学校では、それぞれの教員が様々な工夫をして授業を行っています。さらに、興味・関心をもてる授業に今後も努めていきます。授業で理解したつもりでも、時がたれば忘れてしまい、テストでよい結果が出ないこともあります。ご家庭では復習を中心に学習することを勧めます。

○ 評価・評定について

「評価・評定の基準がわからないので改善につながらない。面談で聞いてもわからない」というご意見をいただきました。7月に配布した「通知表の見方」をご覧ください。詳細については、各教科の授業で生徒に説明しています。個々の質問については、教科担当が説明いたしますので、遠慮なくお申し出ください。

○ 進路指導について

「進路指導が不十分に感じる」というご意見をいただきました。本校では、3年間を通して計

画的にキャリア教育を行っています。1学年では、職業調べやキャリアセミナーを通して働くことの意味や職業について知ること、2学年では、職場体験(チャレンジ・ザ・ドリーム)や高等学校等の上級学校調べを行い、3学年では、具体的な受験システムや面接指導・自己PRカード等の受験に向けての指導を行うなど、段階を踏んでの指導を行っています。高校入試においては、近年、入試形態が変化しているため不安になることも多いと思います。都立高校も私立高校も説明会や学校公開等を頻繁に行っています。進学先の決定は、各ご家庭になりますので、是非、保護者の方も多くの学校の説明会等に参加してください。

○ タブレットについて

「タブレットでの動画視聴は学習の妨げになると思います。他区では見られないというところもあるそうです」というご意見をいただきました。アプリの制限は、江戸川区が一括で管理しており、各学校で管理することはできません。YouTube等の動画については、学習に必要な動画も多くあり、他区でも同様と思われます。保護者としては、家庭学習に影響が出ると思われるのはもっともです。しかし文部科学省は、タブレット導入に際して予想される多くの課題に関しては、各家庭の協力と指導が必要であるとしています。学校でも学習に関係のない使用は禁止とする指導を引き続きしていきます。ご家庭でもご指導をよろしく願います。

○ デイリーライフについて

「提出物や毎日の記録など細々したことができるとういのですが、あれもこれも決められていて自発的な試行錯誤や工夫につながっていない。」というご意見をいただきました。その通りだと思います。ただ、すべての生徒が自発的に試行錯誤したり工夫をしたりできるわけではありません。個人差があります。学校としては、生徒全員が安心して学校生活を送れるようデイリーライフを導入しています。生徒には、十分な説明をしていくよう心がけます。

○ 受験用写真について

「受験用写真撮影の予備日も作ってほしい」というご意見をいただきました。来年度以降、予備日を設けるようにいたします。

○ 挨拶のできる生徒の育成について

葛二中生の挨拶ができなくなってきたというお話を保護者から聞くことがあります。学校でも真摯に受け止め、「プライド8」を掲げ生徒に挨拶の励行を促しています。今後も指導を徹底していきますが、挨拶は中学校だけで育成できることではありません。家庭や園・小学校における幼少時の指導で挨拶が自然と習慣づくようになるのが理想です。ご協力をお願いいたします。